



2023年
8月31日
発行

日本山岳会

「高尾の森」



— 広針混交の豊かな森づくり活動 —

会員数：個人169名 法人13社
(2023年7月末現在)

今年の夏は各地で数年ぶりに様々なイベントが復活！

それと同時に暑さの記録も更新！？

まだまだ厳しい暑さが続きますが、暑さを味方につけて楽しみましょう。



2023.5.14 滋慶学園 TCA 森林体験教室より

タゴガエル

本州、四国、九州などの山地の森林や溪谷などをすみかにしている日本固有種であり、高尾山でも見ることができる。オタマジャクシは餌を食べなくても卵黄を消費するだけで変態して、非常に小さな子ガエルになる。成体の体長は30～58mmで動物食となり、昆虫、クモ、陸貝などを食べて生活している

絵：横川 信由



タゴガエル 横川 信由

<http://JACtakao.net>



2023年 通常総会報告

日時：2023年6月17日（土）15:00～16:30
場所：八王子 東京たま未来メッセ 第三会議室
議長：小木曾裕子、村田進

【総会成立要件】（定足数）

- ① 会員総数：168名（必要定足数は56名（1/3）以上）
- ② 当日参加人数：45名
- ③ 議決権行使会員：57名（いずれも議案に賛成）
- ④ 委任状：19名

総数②+③+④=121名で、必要定足数満たすことを事務局長報告で確認した。

議事録署名人の選任

議場に議長指名の確認後異議なしを受け、松川監査役、吉川監査役を指名した。

第一号議案「2022年度事業報告」

- ① 大塚代表から2022年度の実業概要を、早川副代表からフィールド活動を報告した。
- ② 定例作業について各班（A班、B班、C班、D班、機械班）の中心的リーダーが活動を報告した。

第二号議案「2022年度会計報告」

- ① 安藤会計担当より会計報告をした。
赤字決算は板当道具小屋新設と都府林植栽地のシカ食害対策等の予算外出費による。
赤字相当分は過去の繰越金で補填した。
- ② 吉川監査役から事業報告及び会計報告が適正である旨の監査報告をした。
会員から領収書の検査対象と保管期間の質疑があり。
● 吉川監査役回答：会計監査は領収書および出納帳の管理状況を中心に実施した。
● 安藤会計担当回答：保管期間は7年間。保管場所：作業小屋、自宅。

質疑のあと議長から賛否を確認し、総会出席会員に異議なく議決権行使の会員と合わせ賛成多数で第1号議案と第2号議案は一括承認決議された。

重任選出された
本山幹事



第三号議案「幹事及び監査役の選任」

大塚代表から大塚哲生幹事自身と本山幸次幹事の幹事重任議案の提案があった。

総会出席会員に異議なく、議決権行使の会員と合わせ賛成多数で承認された。

報告事項「2023年度事業計画及び予算」

- ① 大塚代表より2023年度の活動方針及び予算について報告した。当初予算として赤字でスタートする。新規法人の獲得、補助金の獲得が必要である。
- ② 早川副代表から小下沢国有林地区（ふれあいの森協定）及び板当国有林地区（ふれあいの森新協定）の森林保全活動計画を報告した。
- ③ 意見・質疑

[会員からの意見]

- 責任をはっきりした新体制を組み、執行のこと。
⇒ 代表 新役割分担表に反映する。
- 都府林4の沢でのシイタケ栽培の拡大反対。
⇒ 幹事会で詳細を検討する。

総会の終了にあたり、重任選出幹事（本山・大塚）から挨拶があった。

新代表、他役員選出

総会直後の臨時幹事会で新代表、副代表、事務局長の互選を実施し、協議の結果全会一致で決定した。（2022年体制継続。）



総会を終えて



A

A 班 村田進

将来を見据えた活動を目指して



今年度から A 班のリーダーを務める村田です。2009 年から法人会員として参加し小下沢植栽地の整備、2016 年から 5 年間、板当の 201 地区で作業を続けてきました。

私事ですが、昨年 介護保険の通知書を受け取りました。最近、林道下山中に足を取られて転倒し、起き上がる際に足がつるといふ二重の痛手を負い、体力の衰えも痛感しています。台風被害そして新型コロナ禍での活動縮小により山は荒れ、作業道の崩壊等の危険箇所が増えていきます。まずは安全第一、無理のない余裕のある作業を心掛けたいです。更に活動を通して、森林作業のスキルを高め、植栽地の地形・動植物の知識の共有ができればと思います。

先輩方が築き上げた「高尾の森づくり」を承継し、今後 20 年さらにはその先を見据えた活動になることを目指していきます。どうぞ宜しくお願いいたします。



C

C 班 小野正

美しく健全な森づくりに役立てれば

前期の B 班に引き続き C 班のリーダーを務めることになりました。作業班のリーダーは連続 4 期目になります。

この会の活動が始まり、すでに 20 有余年が経過しました。この間、会員各位の活動によって美しい森がよみがえりつつあります。また、森に現れる動物の種類が増え森の住人は確実に増加しています。

美しく、健康な森を育てるには間伐、草刈り、植樹、さらにそのための道づくりなど多種多様な活動に加え、とても長い時間を要します。以前、もののけ姫で有名な奥出雲の「たたら製鉄」を見学する機会がありました。そこで使われる燃料の木炭は、原料に松、栗、榎、ブナ、クスギ、檜などが使われたようです。さらにそれらの樹木を確保するため、植樹・育樹・伐採を 30 年サイクルで行っていたといえます。このように森づくりにとはとても長い時間がかかり、一世代で完結することにはできません。もっともっと森の住人が増え、美しく健全な森、「持続可能な森」になっていくよう、微力ですが焦らず急がず、少しでも役に立てればと思います。



みんなで楽しく、安全に、
でも大胆に

B

B 班 森中大晴

入会 5 年目にしてリーダーなんて受けて良いのだろうか？と自ら問いかけているうちに 7 月の定例作業を迎えてしまい、華々しくも？リーダーデビューしてしまいましたので、もう後には引けない気持ちです。未だリーダーとしての土俵がどこにあるのか判らないで右往左往している頼りないリーダーではありますが、みなさんよろしくお願ひいたします。新 B 班のみなさん、悲観的にならなくても大丈夫です！ 我らの B 班には 3 人の頼りがいのあるサブリーダーがいますから。

リーダーとして、みんなで楽しく、安全に、でも大胆に活動することを目指していきたいと思っています。みなさんと未来の高尾の森のイメージを持って活動できるよう共有・共感を大切にしていきたいと考えています。

最初に謝っておきます。名前と顔を一致させるのが苦手です。ごめんなさい！

D

各作業班協力し 小下沢地区の 活性化を



D 班 小山圭司

作業班の D 班（植栽地調査）を担当することになりました小山圭司です。

作業班のリーダーは 10 年ぶりの担当ですが定例作業活動では D 班は「調査」が目的です。ただ、調査のための雑木処理や下草刈り等の作業は実施します。

2012 年度からは植栽地候補も限定され、植栽総本数が減ってきて活着本数の相対的減少や害獣被害も発生し、残存本数も減ってきたことから 2012 年度以降を植栽地調査の候補としました。また、各作業班に実質的な作業でご協力いただく事も多々あると思いますので何卒、宜しくお願いします。

小下沢地区はここ数年、作業地候補でなかったこともあり作業道が荒廃し、かつての植栽地も木々が密集地となっているところも少なくありません。計画的に各作業班が協力し、定期的な活動を実施し小下沢地区の活性化を図れればと思います。

5月活動日記



今年もハクウンボクの花が
たくさん咲きました



初参加です よろしくお願ひします

- A 班、B 班共同で板当エリアの整備を集中的に、新たな作業道のルート開拓、植林エリアの中低木の除伐、下草刈りなどを行った。
- 作業開始の頃に雨が降り出し、「こりゃあ中止かな？」なんて思いきや、なんのなんのカッパを着てガッツリ。終わってみればカッパはドロドロでした。



初参加の方は初回研修



首脳会議？ さて今日の作業は・・・



作業道開拓



ええ〜ツ、ここ行くんですかあ〜！



下山後のお楽しみ

もくじ

2023 年通常総会報告	02
新リーダーからひと言	03
活動日記	04
親子森林体験スクール	07
ノンちゃんの三宅島活動日記	07
滋慶 TCA 森林体験教室	08
八王子環境フェスティバル	08
小下沢の森の樹木たち	09
【連載】安全作業のすすめ	10
「ハチ対策講座」報告	11
新会員紹介	11
事務局からのお知らせ	12

6月活動日記



板当作業エリア



とりやあ〜ツ!



B 班 作業終了後



6 月はキイチゴの季節

- 5 月に引き続き A,B 班混成チームで板当エリアの整備を行った。
- これからのハチの季節に備え、作業終了後、作業小屋前でポイズンリムーバーの使い方講習会が行われた。
- 現在の各班構成員での作業はこの日が最後。ベース解散後、班ごとにそれぞれ別の場所で懇親会が行われたが、結局は色々な人が入れ替わり楽しいひと時となった。



ポイズンリムーバー使い方講習会



鉋の研ぎ方教室?



7月活動日記

- 新リーダーのもと新たな班編成でのスタートとなった。
- 板当エリアの整備に加え、13、14年度植栽地の下草刈り、特別編成チームでの作業道補修が行われた。



新 A 班、いざ出陣！



この時期ハチ対策重要です



お昼休み中 (B 班)



板当エリア作業中 (B 班)



どお? キレイになったかなあ



あそこの倒木を処理して・・・



そして自ら格闘中



立派な道ができました



道補修の精鋭たち



高尾の森
親子森林体験スクール
(第22回)



それでも1回目、2回目ともにメニューは盛りだくさん！

大塚庸康



草刈り、地寄せ



しいたけ 駒打ち

1 回 目

4月16日(日)

- 高尾の自然観察
- 植栽地めぐり
- 森の話
- 草刈り、
地拵え体験
- しいたけ
駒打ち体験

子供 17 人に保護者 20 人が木下沢林道の梅林前に集まった。今回は親子森林体験スクール始まって以来初の全員参加とのこと。準備運動を行い「いざスタート」。こ

れから始まる色々なカリキュラム
に胸躍らせ笑顔が溢れている。

皆初めての体験にもかかわらず、積極的に参加している。特に子供たちの積極的に取り組む姿は感心しきり。親御さんが手伝おうとすると「自分一人でやる、手を出さないで」と。親御さんは頼もしくも思いながらちょっぴり寂しそう。

メインの地拵え・植樹では親子協力して黙々と作業に取り組んだ。皆手際が良く、予定の時間より早めに無事完了。その後は皆そろって記念撮影。どの顔も満足に

満ちた笑顔が溢れていました。自分たちの植えた苗木が大きく育つことを願いながら楽しく終了することができた。

今回サポートに協力いただいた
会員の皆様、お疲れ様でした。

2 回 目

5月21日(日)

- 木工教室
- 植樹体験
- 苗木用
シェルター
設置



植樹

ノンちゃんの 三宅島活動日記

第25回 三宅島緑化再生プロジェクト

6月23日(金)【1日目】

過去の植樹地の下刈り、堆肥散布

背の高いイネ科？のような雑草がはびこり、植えた木を隠していた。宝さがしみたい。

夢中で風よけも残さず刈ってしまった。刈り過ぎかも？

枯れた木もあるが、意外と生き残っている印象。

6月24日(土)【2日目】

甑（こしき）の穴（噴火口）の下刈り、周辺路の補修

地元の高校の先生と生徒、総勢 10 名が参加。
刈払機のエンジン音があたりには響いていた。
刈った大量の草を、一か所に集め、大きな山ができた。
下刈を終えた場所は、すっかり見違えて気持ちのよい

場所となった。作業前、作業後の写真を撮っておけばよかった・・・。チョット残念。

6月25日(日)【3日目】

自由行動

巨樹見学に行った。

幹はほとんど空洞化、満身創痍で
生きている。

ガンバっている。えらいもんだな。

三宅島の植物の勢いはすごい！

アジサイは巨大化してまるで木のよう。
ほおっておいたら、道路は丈高く伸び
てせり出してきた草に覆われて隠されてしまいそう。
ジャングルに飲み込まれる遺跡を連想。

一方で前回（秋）に訪れた見渡す限り溶岩の風景。

溶岩で埋まった町の上に遊歩道ができていた。

ここはさすがの植物も歯が立たないのか、草もほとんどなかった。

三宅島はすごいもんだなあ。植物も火山も、



甑の穴にて
展望台下



学生たちの学びと達成感の一助になれば

— 滋慶 TCA 森林体験教室 —

相澤研一



5月14日に滋慶TCA 課外学習サポートに参加した。参加者は、学生と先生、サポートメンバー合わせて総勢100名超で小雨の中で実施した。目的は自然観察、森林見学、景信山登山を通して、森と海のつながりや環境保護を学ぶことである。

当日は2グループに分かれて木下沢梅林前に集合。この時の学生は授業半分、遠足半分の楽しい散策を思い描いているようで、これから雨の中を歩き続けることなど想像もしていなかっただろう。ベースまでの都有林で椎茸栽培やツリーシェルターの説明を受け、単位取得に必要なレポートのメモを取りながら進んだ。

ベースに到着し、朝礼、体操後、さあ出発という時に雨が降り出した。カッパを着てザリクボ登山道から景信山に向かった。体力自慢の学生だが山歩きは不慣れ、さらにカッパで汗だく、ブーブ言いながら歩いた。一方で、辛そうな学生がいるとクラスメイトの励ます姿があり団結力も感じた。途中、昼食を取り最後に景信山山頂直下の滑りやすい山道を苦労しながら登

り切った。学生は「着いた!」と喜び、達成感を味わっていた。小休憩後に下山を開始、今一度気を引き締め滑る山道を下り全員無事に下山した。

終わってから振り返ると、もう少し何かできたのではとすることがある。それは、学びの手助けとして山や動植物の知識を多く持っていればもっと説明ができ、レポート作りに役立ったのではということ。幸い後日レ

ポートを見ると、色々な視点で環境保護の重要性を述べ立派に仕上げてくれている。



これから何が始まるのか...



雨の中の景信山登山



転んだら
こんな
なっちゃい
ました



高尾の森ブースの様子

八王子環境フェスティバルに出展

小木曾裕子



6月4日に「東京たま未来メッセ」にて開催された「八王子環境フェスティバル」に出展しました。従来は八王子駅前商店街等の屋外での開催でしたが、今年は新設された屋内会場となり、風雨の心配もなく多くのお子様連れのご家族や幅広い年齢層の方々が来場されました。

「高尾の森づくりの会」のブースでは設営早々から来場者が足を止

めてくださり、皆で手作りした木工品の説明や高尾の活動のPRを行いました。動物カメラの映像は人目につきやすい通路の角に配置して興味のある方に丁寧に説明することができました。木工品の販売では大小のパズル、積み木、花瓶敷や鍋敷、箸、バードコール等が人気でした。ものづくり班では今回の反響を参考にして次回のイベントに向けて色々知恵を絞って木工品の製作に奮闘しています。



全員集合

小下沢の森の

連載 第2回

樹木たち

私たちの身の回りは樹木に取り囲まれています。住まいの周辺には庭木や街路樹が植えられておりこれらはなじみのものが多いのですが、いったん山に入ると名前も知らない樹が沢山あります。これらの樹木の名前を覚えるのに多少の努力が必要です。自分が植えた樹については説明できるようにしておきたいものです。第1回に続き、5種の樹木を紹介します。

樹木特性と生育状況

(カッコ内は植樹本数)

6

イタヤカエデ
01 植栽地



イタヤカエデ (1,055) 【カエデ科】

◆ 20m に達する高木となり小下沢溪畔やザリクボ登山道沿いに巨木が多い ◆ 秋に黄葉する樹として知られるが、春に淡黄色の花が咲き新緑と間違われることがある ◆ 日照条件のよい沢筋ではガレ場でも苗木の生育は良好 ◆ 樹液に甘味があり当会では自然木から樹液を採取し森の生産物として紹介 ◆ 材としても用途は広い



イタヤカエデの葉*

8

カツラ
03 植栽地



カツラ (1,088)

【カツラ科】

◆ 白亜紀から1億年生き延びてきた樹木で雌雄異株 ◆ 幹が枝よりも勢よく伸びる性質があるため高さ30m以上、直径3～4mという巨木になるものがある ◆ 水を好むため巨木は溪畔に多いが、当会では山腹のガレ場に植えたものも生育良好で、このまま生長が続けば通説を覆すことも!? ◆ 材は通直なため最も優れたものの一つ



カツラ

9

ヤマボウシ
04 植栽地



ヤマボウシ (990)

【ミズキ科】

◆ 6～7月に白い花弁のように見える花をつけ、まとまって咲くから見事 ◆ これは4個の総苞片で、花は20～30個集まった球形の頭状花序 ◆ 秋に丸くて赤い実がなり食べられる ◆ 庭木にも用いられ市街地でも見られる



ヤマボウシの花

7

ケヤキ
01 植栽地



ケヤキ (1,513)

【ニレ科】

◆ 日本固有の樹種として山地・平地で巨樹・巨木が多い ◆ 小下沢林内にも巨木が多く「大ケヤキ」は我々の活動拠点のシンボル ◆ ヤマザクラに次いで多く植樹をした樹種で日照のよいところでよく育つ ◆ 材は保存性が高く堅牢であるため用途は広い



ケヤキの葉*

10

ナツツバキ
04 植栽地



ナツツバキの花



ナツツバキ (585) 【ツバキ科】

◆ 夏にツバキに似た花が咲くのでこの名がついたが、ツバキは常緑樹でこの種は落葉広葉樹 ◆ 山地に分布するが沙羅双樹の名を貰っているためお寺の境内に古木が見られる ◆ 陰樹ではないが北斜面の方が生育がよい ◆ カリンに似て樹肌が美しい

連載 安全作業の すすめ……その3

今年度は野生動物の観察件数が多い場所での活動が増えたためか、4月以降マダニの目撃例を手始めに、すでに2件のマダニ刺咬事故が発生しています。

マダニはクモやサソリに近い蛛形綱に属する。活発な活動時期は4月～11月だが、12月にも咬まれた記録がある。など1年を通して気をつける必要があります。

体長は小型種のヤマトマダニで2mm程度～、大型種のタカサゴキラマダニで8mm程度。普段は葉裏などに潜んでいます。動物の接近を感知する(炭酸ガスや振動等)と葉の表に移動し、前脚を大きく開き獲物を通るのを待ちます。また歩行速度は比較的速いです。マダニは獲物に取り付くと時間をかけて刺咬場所を探し、数日～数週間かけて吸血し自らの2～3倍の大きさまでに膨れ、飽血すると自ら落ちます。刺咬時は麻薬物質を注入するため痛みを感じることはないが、マダニ刺咬の最大のリスクは唾液腺に潜在しているといわれるウイルスや細菌による感染症です。

では マダニに咬まれないためには？

- シカやイノシシ等の野生動物が出没する環境に多く生息するため、このような場所では休息時に自分の衣服を叩いてマダニを落とす。敷物を使用し地面に直接腰を下ろさない等工夫してください。
- 長袖長ズボン、長靴下、手袋、手拭い等で、腕、足、首など、肌の露出を少なくし、袖しまり、裾しまりよいものを着用してください。
- ディートやイカリジンといった忌避剤が各社から市販されています(今年度は会として活動時に忌避剤の提供を行います)。これらはマダニの付着数減少を期待できますが完全に防げるわけではないので服装等の防護との併用として考えてください。
- マダニは取り付いてから時間をかけて刺咬場所を探すことから、帰宅後すぐに入浴することで体表のマダニを洗い落とすことが期待できます。その際、刺咬頻度の高い頭部(髪の毛の中)、耳中、耳の後ろ、首の周り、脇の下、腹回り、鼠径部、足指の間などに、マダニや刺咬痕が無いことを十分確認してください。



タカサゴキラマダニ (5月定例作業後)



タカサゴキラマダニ (裏)



フタトゲチマダニ 吸血

- マダニを家内に持ち込まないために作業着等は早めに洗濯するようにしてください。

もし マダニに咬まれてしまった場合

ワセリン塗布法やティックリムーバー等、除去法はありますが、虫体を圧迫し体液を逆流させてしまったり、頭部が残ったりするので、自分で取り除くことが困難な場合は迷わず皮膚科等の医療機関にて処置してもらってください。また除去後1ヶ月は体調の変化に注意してください(マダニ感染症の潜伏期間は2～21日程度)。

★ KeyWord

マダニ # マダニ感染症 # ディート # イカリジン

「ハチ対策講座」報告



今年度のハチ対策講座を7月1日に立川市女性総合センターにて参加者15名で実施しました。

講座では、ハチを知る、刺されないようにするには、刺された場合の対処法の3部構成で解説し、特にポイズンリムーバーを用いた吸引実習やエビペン処方までの流れを確認しました。今後は新会員研修の一環としても取り組む予定です。

相手を知る事の大切さ

ー ハチ対策講座に参加してー

猪股和子

「怖いっ!スズメバチの巣なんか採っちゃえばいいのに」と思っていた考えは、見事に覆されました。ハチ達は、仲間や巣を守る為に、敵と認識したときのみ、でっかい哺乳類にも果敢に立ち向かってくるだけなのです。ならば、刺されないための行動、身支度、体調を整えることの大切さも納得がきました。そして刺傷されてもハチ毒でアナフィラキシーショックにならない為に、山中での応急処置や対処行動のシミュレーションを、皆ができる事も必要と感じ、何故かハチに親しみを覚えました。

新 会員紹介

トヨタ東京自動車大学
校です

未来の地球環境のために

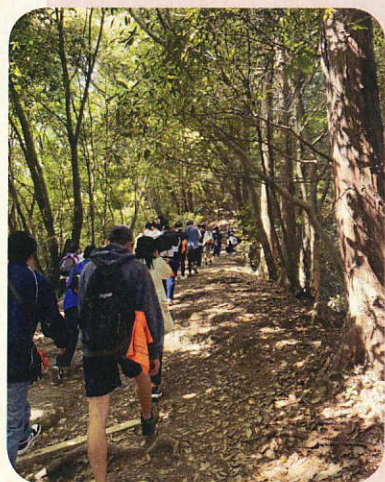
専門学校トヨタ東京自動車大学と申します。

当校は1954年に設立後、1971年から八王子市にて自動車整備士を育成するトヨタ直営の学校として、今までに約27,000人の卒業生を社会に送り出しています。「技術を磨け、そして人間性も」を基

本に専門の知識・技能に加えて人格形成にも力をいれた教育を進めており、学校全体として地域社会へ貢献をし、人と人との繋がりを大切にする事に注力するとともに、トヨタグループの一員として、電力・燃料使用量の削減に努め、CO₂削減によるカーボンニュートラルの実現による持続可能な21世紀社会への貢献を目指して活動しています。

当校へ入学した学生は、毎年高尾山に登っています。今回、高尾の森づくりの会に入会させていただき、まだ活動はできていませんが、自然環境を守る事の大切さを学ぶことを通して高尾への恩返しができたらと思います。

新入生の高尾山登山



トヨタのEVコンセプトカー
LQ 教材車

石井剛です



これからの 作業が楽しみです

これまで自然環境の保護について関心は持っていましたが、具体的な行動へ移すことはありませんでした。そんな折10年振りにお会いした元上司から「高尾の森づくりの会」を教えてもらい「自分でも何か貢献出来る事は有ればやってみたい」と思えた事が入会のきっかけになりました。

1月の体験参加の作業道整備に係わらせて貰えた事により、それまでハイキングで何気に歩いていた登山道は、整備がこんなにも大変で大切であるということを実感しました。

今後の活動の中で道具の安全な使い方の習得や植樹など未経験な事も多く、これから知識と経験を積めることにワクワクしており、「高尾の森づくりの会」の活動を通し成長して行けたらと思っています。

これからお世話になりますがよろしくお願ひいたします。

活動記録

- 5/13 定例作業 (会員41名、法人7名)
 5/14 滋慶学園 森林体験教室
 (会員19名、学生95名、支援8名)
 5/21 京王親子森林体験スクール 2回目
 (会員29名、親子29名、京王3名)
 5/27 都有林プロジェクト (8名)
 6/4 八王子環境フェスティバル (12名)
 6/10 定例作業 (会員56名、法人9名、体験1名)
 6/11 京王親子森林体験スクール 3回目
 (雨天のため中止)
 6/17 2023年 通常総会
 (出席45名、議決権行使57名、委任状19名)
 6/24 都有林プロジェクト (5名)
 6/23-25 三宅島緑化再生PJ (延べ40名)
 7/1 ハチ対策講座 (15名)
 7/3 一丁平整備 (会員8名、京王2名)
 7/8 定例作業 (会員55名、法人3名)
 7/17 刈払機講習会 (受講者6名、講師3名)
 7/29,30 チェーンソー特別講習①②

こんなところに
鳥の巣が！

なかなか進まない小
下沢林道修復工事。

放置された重機の上に鳥が巣を作り、そこに卵が！ どうやらセキレイの卵のようです。これは6月のこと、ヒナは元気に巣立っていったでしょうか？

大塚代表の
活動で見つけたいい話

チヨット

7月から新たなリーダーやサブリーダーと会員の皆様が、新班として心新たに力を合わせて作業活動を行う姿に、つまり、いろいろな変化に柔軟に力強く対応頂いている会員の方々の姿に感動して、胸が締め付けられそうでした。

活動実績と予定

- 8/12 定例作業
 8/26,27 清新第一小学校 父子森林スクール
 9/9 定例作業
 9/16 チェーンソー特別講習③
 10/14 定例作業

会員動向

入会：ようこそ

石井剛さん



幹事会報告

(詳細はホームページ会員専用ページを参照ください)

◆ 5 月

協議事項 総会の準備・議案書作成、小下沢林道車両通行運用案、他

報告事項 2022 年度会計・業務監査会の報告、植樹祭完了報告、他

◆ 6 月

協議事項 都有林 PJ の終了と C 班活動への統合について、他

報告事項 新年度新作業班案、各種活動の実績報告と計画、他

◆ 7 月

報告事項 各種活動の実績報告と計画、国土緑化推進機構への助成金申請、他

編集後記



夏山シーズン到来！ なのですが、今年の夏は様々なイベントが復活ということもあり、地元の盆踊りも数年ぶりに実施することになり。その実行委員で準備やら本番運営で休日也大忙し！ そんなわけで気持ちに余裕もなく、未だに夏山の計画何もありません～。この会報誌が発行される頃には夏山に行けているといいのですが…。(大島徹)

